

令和6年度第1回庄内町文化財保護審議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年7月3日(水) 9時30分～11時25分
- 2 開催場所 庄内町立図書館 多目的室
- 3 出席委員 池田孝一、坂本慶治、佐藤 浩、志田重一、菅原恵美子、菅原昭治
- 4 欠席委員 長南敬之、澤田美代治
- 5 事務局 社会教育課長、社会教育課主査兼社会教育係長、社会教育係主任  
図書館長(説明)

-----  
進行：社会教育課長

1 開 会 社会教育課長

2 会長あいさつ 志田会長

3 報 告 (座長：会長)

(1) 令和5年度清河八郎関係資料調査報告について  
《資料1により調査員である菅原副会長より報告》

(2) 令和6年度文化財保護関係事業について  
《資料により事務局報告。また古文書解読講座について補足説明》

4 協 議 (座長：会長)

(1) 指定文化財候補物件について(情報交換)  
《資料により事務局説明》

【会長】去年は庄内町歴史民俗資料館の今後の方向性についての調査審議を行ったが、今後は何かしら新しい形で地域の文化財を見直していかなければならないだろう。資料に挙げられている候補以外にも新しく候補として考えているものがあれば。余談だが、以前は各集落で「自治会史」が多く発行されたが、平成、令和になってあまり少ない。和合の里を創る会で本を作った。これを見ると、十六合、大和各地区の文化財や歴史をまとめた形で載っており、非常に評判が良い。他の地域ではこうした機運はないか。

【委員】庄内町も合併したわけだから、そろそろ庄内町としてまとまった通史的な資料の作成に向けた機運を盛り上げていかなければならないのではないか。

【事務局】新たな指定文化財候補物件について、10月の第2回審議会で現地を調査するという事も可能。

【会長】現地に足を運んで、皆さんの目を見て調査できればいい。

【委員】「佐藤幸徳中将「回顧録」」の所在が町立図書館になっている。

【図書館長】佐藤幸徳中将の遺品について、回顧録のみならず図書館で保管しているものが様々ある。

本町出身の大学教授で、幸徳中将の親族の方が、回顧録を自身で解説、翻刻し、まとめたものを出版したいと取り組んでおり、まもなく出版の運びとなるとお聞きしている。より地域の人達にも内容についてご理解いただける機会が増えるのではないかと考えている。

【委員】佐藤幸徳中将の回顧録と言うのは、戦争史の研究にとっては一級の資料。それがここにあるとすれば、人の目に触れ、研究の対象になれるような処置をするべき。

【委員】幸徳中将の回顧録を、早く町指定文化財として指定した方が良い。

【委員】学校統廃合が話題になっている中、学校に保管している文化財的な資料がどの程度あるのか、点検していく必要があるのではないかと。

【副会長】新しい候補物件の調査もいいが、指定文化財の現状調査は全て終わったのか。

【事務局】指定文化財所在確認調査で一番最近行ったのが、令和4年度第1回審議会の時。その後、所在確認調査で時間をとるよりも、もっと情報交換すべきとの意見があったため、いったん休止している状況。調査を再開することも一つの考え。

【副会長】我々の役割として、指定物件の確認も大事。

【委員】集落所有の文化財は、調査にいくことで何年もしまっていたものを出して確認する機会になるので、所在確認は大事。

【事務局】第2回審議会は、10月2日（水）午前の開催とし、その際1～2か所で所在確認調査を行う。調査する指定文化財は、緊急度などふまえ事務局一任。また、学校統廃合を踏まえた各学校にある古い資料や文化財などの調査、新たな候補物件の調査などの進め方については、次回以降に提案できればと思う。

(2) その他

5 その他

6 閉会 社会教育課長